Kimitsu City Assembly News

166号

令和８年11月１日発行

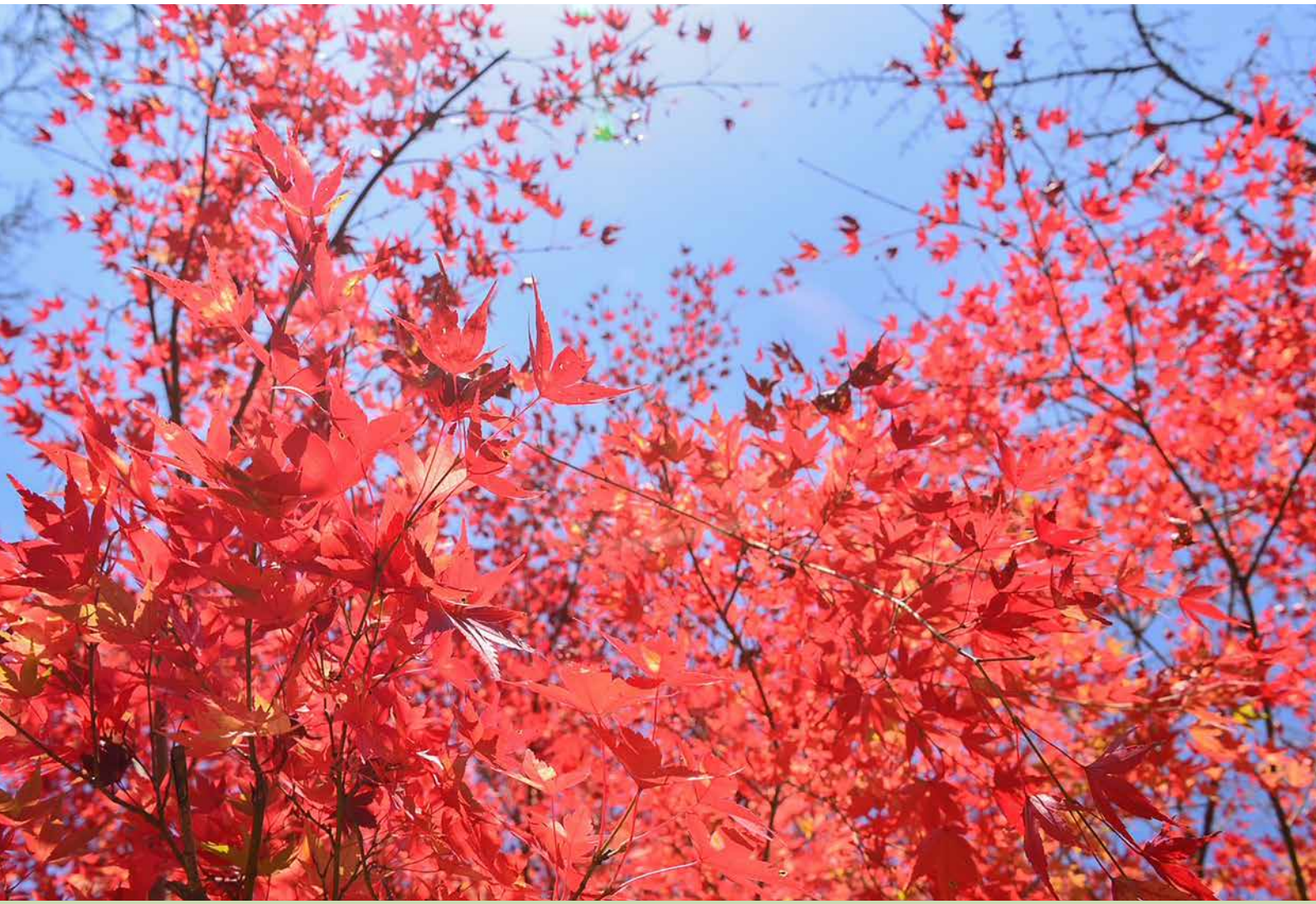
きみつ市議会だより

第３回定例会

発行／君津市議会
編集／きみつ市議会だより
編集委員会

CONTENTS

2　第3回定例会のあらまし
4　議案等の審議結果
5　一般質問Q&A
（10議員が質問）
9　委員会の焦点
10　決算審査特別委員会の概要





このたびの台風25号により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

市議会としましても、関係機関との連携や各議長会を通じた要望などにより、市民の皆様が一日も早く安全安心な生活ができるよう、力を尽くしてまいります。

被害のあった道路は関係機関や事業者の皆様のご協力により復旧が進められております。11月下旬からは亀山オータムフェスティバルが開催されるほか、12月にかけて市内各地で紅葉が楽しめますので、今年の秋は市内で紅葉鑑賞はいかがでしょうか。

令和８年

第３回定例会のあらまし

令和7年度各会計歳入歳出決算の認定、内みのわ運動公園リニューアル工事請負契約の締結など

議案16件、陳情１件を議決

第3回定例会は、9月3日から9月30日までの28日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和7年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定など、市長提出の議案16議案と陳情1件を審議し、慎重審査の結果、陳情1件を不採択とし、そのほかは原案のとおり可決・認定されました。

一般質問では、10人が登壇し、市政運営等について、活発な議論がされました。

主な日程

第３回定例会（9月）		
9/3㈭	本会議（招集日）	会期の決定、議案等の上程など
7㈰	本会議	一般質問
8㈪	本会議	一般質問
9㈫	本会議	一般質問、追加議案の上程、決算審査特別委員会の設置、委員会付託　など
10㈬	建設経済常任委員会	
11㈭	教育福祉常任委員会	
14㈰	総務常任委員会	
16㈫	決算審査特別委員会	
17㈬		
18㈭		
30㈫	本会議（最終日）	委員長報告、質疑、討論、採決、追加議案の上程など

本会議における主な討論

議案第４号　内みのわ運動公園リニューアル工事請負契約の締結について

反対

リニューアルの内容に市民プールが含まれていないため、反対する

賛成

人件費等の義務的経費が増加する中で、税収の増加に支えられた面もあるが、経営改革の推進、予算の効率的な執行により経常収支比率も若干ではあるが改善が見られ、評価できる。また国の交付金の活用なども行われ、効果的に予算を執行しているものと考える。

認定第１号　令和７年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対

・寄附金について、寄附者の意向により企業名や金額が非公開となっているケースがあったため反対する。
・算定誤りによって交付された約2億円の特別交付税が国に返還されていないため反対する。

陳情第７号　「九十九里沖CCS事業の中止撤回を国に求める意見書」採択に関する陳情書

賛成

本事業は脱炭素化に大きく貢献するものと考える。安全面については、各過程において保安措置が計画されている。また、事業実施については九十九里沖の試掘結果や安全性評価等を踏まえ判断されるものと理解する。

反対

本事業の安全性においては懸念点が多くあるほか、わが国における二酸化炭素の排出量は中国やアメリカに比べて少なく、莫大な費用をかけて対策を行うことに疑問を感じる。

主な事業を紹介します

令和８年度 一般会計補正予算

NEWS

新たな議員が誕生



氏名　山中（やまなか）　茂（しげる）
住所　君津市植畑
出生年月　昭和53年2月

去る 10 月 25 日に執行された市議会議員補欠選挙において、山中　茂 氏が当選されました。

今定例会では、君津市一般会計補正予算（第6号～8号）に係る議案の審議を行いました。主な事業は以下のとおりです。

災害復旧費（第６号～第８号）



第６号では令和８年台風第７号・８号、第７号では令和８年８月千葉豪雨（８月 13 日・14 日）、第８号では令和８年台風第 25 号により被災した農業施設や道路等について、それぞれ復旧に要する経費を計上します。

	第６号	第７号	第８号
農業施設災害復旧事業	2,310万円	1,410万円	5,800万円
林業施設災害復旧事業	1,650万円	730万円	5,900万円
農地災害復旧事業	―	40万円	1,660万円
道路橋梁災害復旧事業	6,242万3千円	1,512万1千円	1億9,400万円
河川災害復旧事業	800万円	1,195万円	3,600万円
公園施設災害復旧事業	―	―	5,000万円
文教施設災害復旧事業	―	―	500万円

第６号

財政調整基金積立金

15億2,063万9千円

前年度決算剰余金を財政調整基金に積み立てます。

公共施設整備基金積立金

3億円

前年度決算剰余金を公共施設整備基金に積み立てます。

第７号

市税過誤納還付金

3,400万円

市税の 10 月還付処理において、過誤納還付金が不足することが見込まれるため増額します。

第８号

予備費

3億円

今後の災害等、緊急性が高く、直ちに執行する必要がある支出に備え増額します。

令和８年 君津市議会第３回定例会 議案等の審議結果

出席議員全員が賛成した議案（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件　　名
議案第１号	一般職の職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について
議案第２号	君津市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
議案第３号	君津市中小企業資金融資及び利子補給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第５号	財産の取得について
議案第６号	令和8年度君津市一般会計補正予算（第5号）についての専決処分の承認を求めることについて
議案第７号	令和8年度君津市一般会計補正予算（第6号）
議案第８号	令和8年度君津市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第９号	令和8年度君津市介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第10号	令和8年度君津市一般会計補正予算（第7号）
議案第11号	令和8年度君津市一般会計補正予算（第8号）
認定第５号	令和7年度君津市農業集落排水事業会計決算の認定について

賛否の分かれた議案等

◆市長提出議案

議案番号	件　　名	議決結果	令和新政 小倉 靖幸	大和ヒロシ	天笠 等	鶴岡 一成	三浦 章	小林喜久男	麒麟 下田 剣吾	保坂 好一	高橋 明	明政会 大滝 浩介	四宮 安彦	鈴木 高大	きみつ未来 満武 琢也	石上 塁	松本裕次郎	公明党 高橋 健治	佐藤 葉子	野上 慎治	諮派 林 祥子	諮派 小倉 広紀	諮派 三浦 道雄
議案第４号	内みのわ運動公園リニューアル工事請負契約の締結について	○ 可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第１号	令和7年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について	○ 認定		○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●
認定第２号	令和7年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○ 認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第３号	令和7年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○ 認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第４号	令和7年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○ 認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

◆陳情

陳情番号	件　　名																						
陳情第７号	「九十九里沖CCS事業の中止撤回を国に求める意見書」採択に関する陳情書	● 不採択	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方　○：賛成　●：反対



市政を問う！

一般質問 Q&A

第３回定例会において、１０人の議員が質問を行いました。
各議員の質問の大綱については下記のとおりです。（通告順）
マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。
なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

四宮　安彦 議員 P.6
明政会
- 明るい将来の君津市について
- 安心・安全で住みやすい君津市について
- JR久留里線について

小倉　広紀 議員 P.6
諸派・改革きみつ
- 福祉行政について
- 災害対策について
- 消防団について

大和 ヒロシ 議員 P.6
令和新政
- 地域経済の活性化について
- ボールパークを通じたまちづくりについて
- 有害鳥獣対策について
- 快適で安心して暮らせるまちについて
- ともに創る次世代につながるまちについて

石上　墾 議員 P.7
きみつ未来
- 財政運営について
- 重点取組施策について
- 内みのわ運動公園リニューアル事業について

野上　慎治 議員 P.7
公明党
- 君津の未来を拓き、子どもたちの幸せを育む教育の推進について
- 安心・安全なまちづくりについて
- 市役所職員の職場環境の改善について

林 祥子 議員 P.7
諸派・希望にみらい
- 健康被害が出ているワクチンについて
- 市内における産業廃棄物最終処分場について
- 久留里線について
- 千葉ロッテマリーンズ２軍本拠地の誘致について
- 社会インフラ設備の老朽化について
- 安心・安全なまちづくりについて

高橋　健治 議員 P.8
公明党
- 災害に強いまちづくりについて
- 有害鳥獣被害対策のさらなる強化について

小林 喜久男 議員 P.8
令和新政
- 持続可能で活力あるまちづくりについて
- 将来にわたり持続可能な財政運営について
- 市民の生命と暮らしを守る危機管理について
- 市民が主役の協働によるまちづくりについて

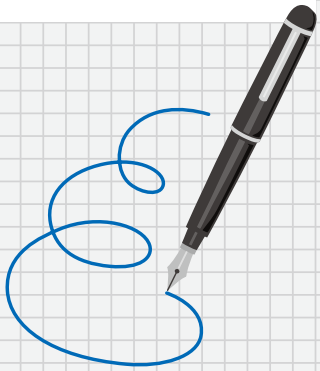
下田　剣吾 議員 P.8
麒麟
- 市長の市政運営について
- 市民の命を守るために
- 通院や買物のための交通について

三浦　道雄 議員 P.9
諸派・日本共産党
- 市長の政治姿勢について
- ＪＲ久留里線について
- 環境行政について
- 地球温暖化について

録画配信をご覧頂けます

一般質問のページでは氏名下部の二次元コードから各議員の一般質問の録画配信ページに移動できます

議員名





明政会
四宮 安彦（しみや やすひこ） 議員

▲録画配信

千葉ロッテマリーンズファーム誘致

Q 公園に人は住めないので、選手寮となる部分は公園から切り離し、地目は宅地になると思う。公園事業費で土地の取得及び造成を行うことは財政法で禁止されている予算の用途外使用にあたると考え、少し無理があるように感じるが、どのように行っていくのか伺う。

A 予算措置については、関係法令を遵守し、適切に対応していく。

Q 貞元地区が今のような状態が保てているのは高齢の方々の懸命な努力によるものであるが、十年後、二十年後も維持することは大変困難であるとのことである。こうした高齢化に伴った地域の保全は市域全体の課題であると考えるが、この事業で他地域の問題まで解決できると考えているのか伺う。

A ボールパークの取組は、市域全体に波及していく取組にしなくてはいけないと考えている。

JR久留里線の代替バス

Q 地域にとって鉄道以上の付加価値を付けるため、代替バスに高性能なドライブレコーダーを搭載して地域を見守る眼としての機能を担ってもらいたいが、見解を伺う。

A 車内の安全確保に加え、地域の見守りにもつながることから、前向きに検討していく。



諸派・改革きみつ
小倉 広紀（おぐら ひろき） 議員

▲録画配信

高齢者も安心して暮らせるまち

Q 高齢者の単独世帯増加が課題と考える。社会福祉協議会で実施している有償のボランティアサービス「あんしん事業」の浸透が重要と考えるが、市の関与・連携の状況を伺う。

A 日常生活における困り事の相談があった場合には、相談内容に応じて当事業を案内するとともに、必要に応じ社会福祉協議会につなぐなど、連携を図っている。

Q 多様な主体と連携して地域全体で高齢者の暮らしを支え合っていくとのことだが、高齢者の課題解決を含めた協議の場があるのか伺う。

A 重層的支援会議を毎月開催しており、高齢者に関することを含め、複数の分野にまたがる課題について、情報共有や協議を行っている。

出初式の見直しによる消防団員の負担軽減

Q 消防団による演技、お披露目や支団単位での行進などの見直しは行わないのか伺う。

A 出初式で行う訓練の内容については、引き続き検討していく。

Q 行進の練習のために支団等の役員は定期的に会議を開催している。出初式当日だけでなく、見えない部分の把握をしないと、今後の消防団の維持につながりにくいと考えるが、見解を伺う。

A 消防団との協議の中で検討していきたい。



令和新政
大和（やまと） ヒロシ 議員

▲録画配信

まずは地元企業が参画できなくては！

Q ボールパーク整備はさまざまな場面で地元企業が参画できる環境づくりが重要。受注機会や事業参加機会の確保に向けた市の考えを伺う。

A ボールパーク整備事業においては、建設時における経済的効果を生み出すとともに、整備後の運営や関連するさまざまなサービス等においても市内事業者が継続的に関わることで新たなビジネスモデルの展開や雇用の創出につながることが重要であると考えている。現在進めている整備事業者の公募、選定においては市内事業者の活用をプロポーザルにおける評価項目の1つとするとともに、ヒアリング等の機会を通じ、市内事業者の受注機会の確保などについても要請をしていく。

市民の安全を脅かす違法わな

Q 君津市における違法なわなの実態や防止策、さらには市民や子どもたちへの安全啓発について現状を伺う。

A 本市では今年度違法わなの連絡が4件あり、計7基の設置が確認された。県や君津警察署と現場確認を行い、誤って人やペットが当該わなにかからぬよう処置した上で警告看板を設置。捕獲従事者には情報提供や注意喚起、市民にはメール配信等で安全啓発を行った。引き続き、関係機関と連携し、新たな違法わなの情報収集や実態把握に努め注意喚起と安全啓発を行っていく。



きみつ未来
石上 塁（いしがみ るい） 議員

▲録画配信

今後の財政状況

Q ボールパークなどの大規模プロジェクトを進めたとして、財政状況への影響について伺う。

A 現時点での試算で単年度の実質公債費比率は約6ポイント、将来負担比率は約65ポイント上昇する見込みだが、どちらも早期健全化基準を下回り健全な状態を保つことができると想定している。また、試算は全て一般財源で算定しているが、実際には球団からの使用料を充当するため、試算した比率以上に健全な状態を保つことができるものと考えている。

指定管理者制度

Q 指定管理料は賃金や物価上昇を反映するためスライド条項の導入が妥当と考えるが、見解を伺う。

A 直ちにスライド制度を導入する予定はないが、賃金や物価の高騰が著しい現在の社会情勢における指定管理料のあり方は課題だと認識している。

病児・病後児保育

Q 登録や利用予約について、ICTを活用したさらなる保護者負担の軽減は可能か伺う。

A 利用登録は、本年9月からウェブフォームによる受付を開始した。利用予約は、先進自治体の運用状況や費用対効果、実施施設における課題などの調査研究を進めていく。



公明党
野上 慎治（のがみ しんじ） 議員

▲録画配信

車中泊避難者への支援を充実すべき!!

Q 熊本地震では、建物が壊れる恐怖から車中泊避難をされる方が多くいた。車中泊避難に対する支援を充実すべきと考えるが、見解を伺う。

A 車中泊避難をされている方を支援するためには、その所在の確認が必要である。在宅避難と同様に車中泊をしている方も所在確認ができるよう、避難所運営マニュアルの見直しを検討していく。

放置車両への適切な対処を!!

Q 千葉豪雨では、放置車両への対処が大きな課題になった。放置車両の一時保管場所の選定など事前の対策が必要と考えるが、見解を伺う。

A これまで本市では災害時の放置車両について経験がないが、対策の必要性を感じていることから、今後、検討していく。

子どもたちの指導に全力を注げる体制に!!

Q 担任が保護者対応に疲れ、子ども達の指導に力を注ぎきれていないという現実がある。精神的ダメージから休職し、退職してしまうケースも発生している。担任を保護者のハラスメントから守る仕組みをつくるべきと考えるが、見解を伺う。

A 保護者からの相談や要望には丁寧に対応する一方、過度な要求や威圧的な言動には、学校として組織的に対応している。現在、具体的な判断基準や対応手順を示したカスタマーハラスメント対応マニュアルを作成している。



諸派・希望にみらい
林 祥子（はやし さちこ） 議員

▲録画配信

健康被害が出ているワクチン

Q HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）の健康被害を受けた当時十代の女の子117人が十年以上も裁判をしている。本市では、どのような方法で副反応の周知をしているか伺う。

A 予防接種の案内と予診票を送付する際、国が作成したリーフレットを同封しており、案内文にはワクチン接種によって重大な健康被害が生じた場合の救済制度についても明記している。

久留里線の代替交通

Q 千葉市花見川区で一日千人の利用があるバスが廃線になるという記事があるが、バスを走らせるだけで終わる話ではないと思う。もし久留里線廃止予定区間のバスが同じような状態になった場合、市はどう対応するのか見解を伺う。

A 地域住民の移動手段を将来にわたって確保することは非常に重要であると考えている。持続可能な移動手段の確保に取り組んでいく。

市の防災の取組

Q 千葉県では局所的な大雨により車の水没など大変な被害があった。市の防災の取組を伺う。

A 君津市地域防災計画に基づき、避難所の環境整備、非常食などの備蓄、複数の情報伝達手段の確保などを行うとともに、災害応援協定の締結を進め、関係機関との連携強化を図っている。



公明党
高橋 健治 議員

▲録画配信

災害に強いまちづくり

Q **災害応援協定を締結している企業、団体等が参加する訓練をどの程度実施してきたのか、また、協定に基づく要請から実際の支援までを確認する実践的な連携訓練について伺う。**

A 君津市総合防災訓練では協定締結団体にも参加いただき、孤立集落対応訓練やライフラインの復旧、支援物資の搬送など実践的な訓練を実施している。こうした訓練の実施により、協定内容や相互の災害発生時の役割を確認することで、さらなる連携の強化を図っていく。

有害鳥獣被害対策のさらなる強化

Q **鳥獣害は、1つの農地だけを守っても、隣接する農地や耕作放棄地へ鳥獣が移動する可能性があり、地域全体での対策が重要。個々の農業者への支援に加え、集落や自治会など地域単位での防護柵整備や環境整備をどう進めていくのか伺う。**

A 自治会からの要望に応じて、有害鳥獣対策に係る説明会を開催してきた。久留里地区の小市部自治会においては、県のアドバイザー派遣を受け、猿に対する環境管理対策に取り組んでいる。集落単位での侵入防止柵の整備や環境管理の有効性を市民に周知し、地域ぐるみの有害鳥獣対策を推進することで、農業被害の軽減に努めていく。



令和新政
小林 喜久男 議員

▲録画配信

後期基本計画と今後の市政運営

Q **後期基本計画の策定に当たり、どのような分野に重点的に取り組まれるのか。また今後の市政運営をどのような考え方で進めるのか伺う。**

A 後期基本計画では、人口減少抑制、人口減少社会への対応の両面から地域経済活性化、持続可能な生活基盤確保、若年層の定住促進等を重点的な方向性として分野横断的な取組を進める。また、将来都市像の実現に向け、安心して暮らせる今と希望の持てる未来、その両方をしっかりと作り上げていく。

中長期的な財政見通し

Q **社会保障関係経費の増加、公共施設やインフラの更新、大規模事業、物価・金利等の上昇を踏まえ、中長期的な財政見通しをどのように捉えているのか伺う。**

A 歳入面では、個人市民税をはじめ、市税収入全体においても増加を見込んでおり、おおむね190億円台で推移すると見込んでいる。歳出面においては、経常経費のさらなる増加が見込まれる中、老朽化する公共施設への対応やボールパーク整備等、中長期的な視点に立った事業などを踏まえた財政シミュレーションでは、財政調整基金を一定程度確保するとともに、健全化判断比率も一定程度上昇するものの、健全な状態を保てると見込んでいる。



麒麟
下田 剣吾 議員

▲録画配信

4月に大学生は来る?市役所建替え急げ

Q **市長が今すぐ改善すべきと考えることを伺う。また旧大和田小の大学の寮の完成時期を伺う。**

A これまでもその時々に必要な見直しや改善を行ってきた。今後も責任ある市政運営に努める。旧大和田小の日本ウェルネススポーツ大学君津キャンパスを整備するタイケン学園に確認したが、学生寮は今後、順次整備予定と伺っている。

Q **学生募集の詳細を把握していないとのことだが、もし4月に百人の学生が来ない場合8億円の補助と学校の土地建物は返還されるのか伺う。**

A 8億円の補助金は施設整備に出した。大学も現在学生を募集しており、今は答えられない。

Q **野球場は25%の予定地が確保できていない。市長がもう少し地権者に配慮していたらと私は考える。公園として整備する以上、住宅地もマンションも造れない。民間のスタジアムでないため建設費も維持管理費も高くつく。例えば事業に寄附した事業者が選定されることもあるのか伺う。**

A 現在、公募中であるため、そういった質問については、答えを差し控えたい。

Q **野球場は、災害時の拠点である市役所や公民館の建替えを行いながらできる仕組みを作るべきだ。命よりも優先すべきことが野球場など、あるわけがないと考えるが、市長の見解を伺う。**

A 私は公共施設の維持・管理と将来や地域の活力を生み出すことを両立すべきと考えている。



諸派・日本共産党
三浦（みうら） 道雄（みちお） 議員

▲録画配信

（仮称）貞元総合公園整備

Q **208億円もの事業費に驚いた市民から怒りと疑念の声が広がっているが、この声にどう応えるのか。市長の見解を伺う。**

A 208億円は本事業の全体の整備費であり、全てを市が負担するものでない。国の補助金、球団からの使用料、寄附金等により市の財政負担を軽減していく考えであり、本事業によって市民サービスの削減を行ったり、将来の財政運営が立ち行かなくなるものではない。市民生活を守ることを大前提に、各年度の財政状況を見極めながら、着実に事業を進めていく。

Q **この事業を進めるにあたって球団からの初期投資がなく、君津市が肩代わりしているように感じるが、市民の税金を使うことは不適切ではないか。**

A 球団のためだけに施設を整備するというものではない。市民の健康づくりや交流の促進、また防災機能を備え、新たなまちの拠点として整備を推進するものである。

Q **低地である事業計画地は、豪雨時に大きな被害を受けると思うが、防災拠点になり得るのか伺う。**

A 地域防災計画に位置づけをした広域避難所として活用できるよう、かさ上げ等をして、防災機能を備えた施設として整備する。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案等をそれぞれ審査しました。審査概要は次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果（4ページ）を参照してください。

総務常任委員会

審査案件（議案第1号、議案第2号、議案第5号から議案第8号、議案第10号）



佐藤葉子委員長

議案第5号 財産の取得

（内容）消防・救急活動において、ちば消防共同指令センター等との交信に使用しているデジタル無線機を更新するもの。

問 **更新する機器について伺う。**

答 今回の更新では、デジタル無線機のうち携帯型を16台、卓上型1台を更新し、新たに可搬型1台の整備を予定している。本年度から3年間で40台の更新を予定している。

（全会一致で可決すべきものと決定）

議案第7号（補正予算） 公共施設整備基金積立金

問 **財政調整基金だけでなく、本基金にも積み立てる理由について伺う。**

答 老朽化する公共施設への対応を計画的かつ着実に進めるにあたり、税収の減少など不測の事態においても、本基金を活用し整備を進められるよう積み立てる。

消防水利整備事業

問 **県の道路工事により再築する設備を本市も費用負担することについて伺う。**

答 道路改良により再築する防火水槽及び消火栓は設置から長い年数が経過しているため、県から支払われる補償費は水利の再築に要する事業費のおおむね半分であり、不足する額を市で負担する。

（全会一致で可決すべきものと決定）



教育福祉常任委員会

審査案件（議案第7号、議案第9号）



鶴岡一成委員長

議案第7号（補正予算） 校舎等維持補修事業

問 **八重原中学校体育館の雨漏り補修内容について伺う。**

答 雨漏り箇所が広がってきたことから、これまで行ってきた部分的な対策ではなく、屋根全面を塗膜防水として遮熱型の樹脂を塗装するもの。

中学校消防設備改修事業

問 **消防設備の法定点検により指摘を受けた箇所について伺う。**

答 小学校では45項目、中学校では41項目の指摘を受けている。今回の補正では軽微なものの改修を予定している。

（全会一致で可決すべきものと決定）

建設経済常任委員会



審査案件（議案第3号、議案第4号、議案第6号、議案第7号、議案第10号、陳情第7号）

議案第4号 内みのわ運動公園リニューアル工事

（内容）内みのわ運動公園の新たな魅力づくりの実現に向け、Park-PFIを活用し整備するもので、デザインビルド方式によりプールなどの解体のほか、多目的広場の芝生整備、テニスコートやトイレの改修などの請負契約を締結するもの。

問 **事業内容について伺う。**

答 プール等の解体撤去に約2億5千960万円、多目的広場の改修に約1億1千470万円、テニスコートの改修に約8千380万円を見込んでおり、その他には、日本庭園などの園路、体育館内のボイラー、植栽やベンチの整備、体育館フロア照明のLED化、トイレの洋式化、デザイン看板の設置等を予定している。

賛成討論 アーバンスポーツ施設の整備や飲食店等の店舗が予定されるなど、新たな魅力の創出に努めていることから、評価できる事業である。

（全会一致で可決すべきものと決定）



内みのわ運動公園
イメージパース

陳情第7号 「九十九里沖CCS事業※の中止撤回を国に求める意見書」採択に関する陳情書

反対討論 CCS事業は雇用の維持と産業競争力を保ちながら、脱炭素を達成するために現実的な解決策であり、国の主導によって安全基準等が設けられている。本陳情を採択することは、我が国の地球温暖化対策の歩みを止めることにつながりかねないため、採択に反対する。（※CCS事業：国が進める、二酸化炭素を回収し地層中に貯留する事業）

（賛成なしで不採択とすべきものと決定）

決算審査特別委員会

効果を検証し、次年度予算へ反映

9月9日の本会議において、委員12名からなる決算審査特別委員会が設置され、9月16日から18日の3日間にわたり、令和7年度君津市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算並びに企業会計決算の認定案件5件の審査を行いました。

慎重審査の結果、認定第1号については賛成多数で、認定第2号から認定第5号については、いずれも全員異議なく、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

委員会における主な質疑等、審査の概要については、次のとおりです。



佐藤葉子委員長



認定第1号 一般会計

問 **本庁舎改修事業の効果を伺う。**

答 本庁舎について、平成29年の東西の塗装に続き、南北の塗装及び防水対策を行ったことで、長寿命化に資するものと考えている。

意見 庁舎の東西と南北では面積が大きく異なることから、今後の修繕の際は施工箇所を検討し、面積の平準化を図られたい。



外壁改修中の本庁舎

問 **移住体験ツアーの成果を伺う。**

答 参加者の希望に合わせて市内のスーパーや病院・学校などを案内しており、二組の方が市内に中古住宅を購入され、そのうちの一組が市内に転入されている。

問 **ひとり暮らし老人等福祉タクシー事業の利用状況について伺う。**

答 君津地区で1千406名、小糸地区で129名、清和地区で31名、小櫃地区で17名、上総地区で38名が利用し、枚数としては2万2千708枚が利用された。そのうち749枚が令和6年度の利用範囲等の見直しにより、新たにデマンドタクシーに利用されている。

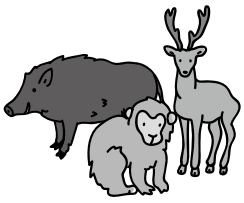
問 **ひとり親家庭自立支援事業における公正証書の作成費の助成状況について伺う。**

答 令和7年度は3件、6万9千円の助成を行っている。

意見 養育費の未払いを防ぐため、公正証書の作成は肝要であり、子ども達の安心につながることから、積極的に取り組んでいただきたい。

問 **有害獣の捕獲頭数について伺う。**

答 県内でも有害獣の捕獲頭数は増加傾向にあるが、本市の捕獲頭数約8千頭は県内上位である。



意見 有害獣による農作物等への被害額も大きいことから、引き続き、捕獲頭数の増加に努めていただきたい

問 **中古住宅補助事業の実績及び事業効果の検証について伺う。**

答 令和7年度は27件の補助を行い、そのうちの11件が市外からの転入である。また、事業効果の検証にあたっては、現在の住環境の評価、市外への転出の意向なども含めてアンケート調査を実施し、今後の住宅施策に資するよう取り組んでいく。

問 **市民文化ホールの改修にあたって予定されている工法について伺う。**

答 改修にあたっては、7種の工法から安全性、材料調達、施工方法、屋根への荷重、音響性能の復元、工期、費用などを総合的に勘案したうえで、準構造耐震天井一体化天井（軽量鉄骨）の工法を選択しており、改修によって安全性の確保はもとより、点検足場を設けることが可能となり、改修後のメンテナンス性の向上も見込んでいる。

認定第2号 国民健康保険特別会計

問 **ジェネリック医薬品の普及率と削減効果について伺う。**

答 普及率としては令和7年7月時点で88.1%、前年と比較すると6.6ポイント増加している。平成25年度から令和7年度までの13年間では約42億2千400万円の削減効果があったと試算している。

認定第3号 介護保険特別会計

問 **滞納繰越分普通徴収保険料の徴収率が向上している理由について伺う。**

答 令和6年度より原課による差し押さえを開始し、令和7年度に改めて滞納繰越分の調査を行い、61件を差し押さえたことによって、収納率が向上した。

問 **介護給付費準備基金積立金の活用について伺う。**

答 第9期介護保険事業計画において準備基金約4億1千万円を活用し、本来6千220円の保険料基準月額を5千800円としている。次期計画期間においても基金を活用することで、保険料上昇の抑制を図る。

討論

反対討論 要求した資料の一部について、非公開とされたことから、認定第1号について反対する。

賛成討論 認定第1号については、扶助費等の義務的経費や物価高騰・労務単価の上昇など厳しい状況の中、子育て、教育、住まいの3つの施策を重点として、総合計画に掲げる各事業が着実、適正に執行されている。補正予算においては、物価高騰や台風被害等に対して早期に対応を行い、市民生活に寄り添う内容であったと評価する。認定第2号から認定第5号についても適正に執行されているものと理解する。

委員会の意見を集約し、執行部へ申し添えを行いました

君津市議会基本条例の規定に基づき議員間討議を行い、9月30日の本会議の委員長報告において、以下の事項について、委員会全会一致の意見として、市へ申し添えを行いました。

申し添え事項

①寄附金に関する情報の公開に関して、寄附者名や金額の公開・非公開については、寄附者の意向が尊重されるべきと認識しているが、あわせて議会に対しても適切な情報提供がなされるよう寄附を受ける際の手続き等についてルールを定めること。

②学校や道路等のインフラについて、老朽化が進む中、学校内で生徒が怪我をする事例等も発生していることから、確実に予算を確保し、計画的な修繕に努めること。

③中古住宅取得補助事業は、空き家の利活用や定住促進に大きな効果があると考えることから、事業の再開を望むこと。

Report 行政視察研修報告 **先進地リポート**

総務常任委員会

令和８年 7月21日㈫～22日㈬

視察先 北海道千歳市、夕張市

1 窓口DX推進事業について（千歳市）



千歳市は、令和6年3月にDX推進計画を策定し、全庁的な推進体制とDX人材の育成を進めている。窓口業務においては、申請書作成を支援する「書かない窓口」や、LINEを活用した証明書申請・決済ができる「行かない窓口」を導入している。利便性向上や職員の負担軽減が期待される一方で、導入にあたっては市民への普及や機器の保守などの課題も含めて検討する必要があると感じた。

2 財政再生計画の取り組み等について（夕張市）

夕張市は、炭鉱の閉山により急激な人口・税収減少が生じた。打開策とした観光施設への投資が過剰だったことや、行政体制の効率化や歳出削減が遅れ、財務処理上の問題も重なって財政再生団体となった。財政再建では、人件費・事務事業・公共施設等を徹底的に見直し、市民生活へ大きな影響を伴う厳しい改革が進められた。夕張市の事例からは、人口減少を前提とした長期的な財政計画、投資効果の検証、透明な会計処理の重要性が示唆されるとともに、大型資産の取得には綿密な目標設定と計画が必須になると感じた。

建設経済常任委員会

令和８年 7月８日㈬～10日㈮

視察先 新潟県佐渡市、上越市

1 空き家等を活用した移住定住の推進について（佐渡市）

佐渡市では空き家活用に官民連携で取り組んでいる。国の補助金等を活用し、企業誘致、サテライトオフィス、お試し住宅、二地域居住など様々な角度から施策を展開し、一定の成果が出ている。本市でも地元不動産業者・自治会・庁内各部署が連携するワンストップ窓口の構築や補助制度の見直し、地域主体の空き家活用などが取り入れられると感じた。

2 観光振興について（佐渡市）

佐渡市相川地区では、古民家を活用した分散型ホテルにより、通過型観光から滞在型観光への転換を進めている。補助金、政府系金融機関、民間資本を組み合わせて資金を確保し、地域の飲食店や商店と連携しながら地域経済の循環を図っている。専門人材の活用、既存建物の再生、補助制度・金融手法の研究を進め、地域の特色を生かした観光振興につなげることが必要だと感じた。



3 農地の大区画化とスマート農業の推進について（上越市）

上越市では、県・市・JA・土地改良区が連携し、農地中間管理機構や県の支援制度を活用して、農地の大区画化を進めている。併せて、自動操舵や可変施肥などのスマート農業技術の導入により、作業時間の削減と経営の効率化を実現している。本市では小櫃地域4土地改良区の再編を契機に、地域の地形に応じたほ場整備、農家の合意形成、スマート農業導入の推進が必要だと感じた。

スマートフォン用アプリで「議会だより」をご覧いただけます。

アプリをダウンロードいただくことで、いつでもどこでもスマホやタブレットなどで「議会だより」を閲覧することができます。

Catalog Pocket

- アプリをダウンロードいただいたら、起動して「君津市」と検索してください。
- 「日本語」で読むを選択すると誌面を読むことができます。

Android用 スマホ・タブレット　iOS用 iPhone・iPadなど

マチイロ

- アプリをダウンロードいただいたら、起動して「お住まいの地域」で君津市を選択してください。
- スクラップ機能で範囲を指定して、記事の気になる部分を指定して切り抜き、画像として保存できます。

Android用 スマホ・タブレット　iOS用 iPhone・iPadなど

※いずれもアプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担になります。

令和８年 第４回定例会　11月27日（金）　開会予定です

きみつ市議会だより編集委員

●委　員　長／松本 裕次郎　●副委員長／佐藤 葉子
●委　　員／鶴岡 一成　下田 剣吾　野上 慎治

●発行／令和８年11月１日
●編集／きみつ市議会だより編集委員会
〒299-1192 君津市久保2-13-1　君津市議会事務局
●TEL　0439－56－1497
●URL　https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/